

Overseas

海外で学ぶ

各学部のカリキュラムに合わせたプログラム

# 学部独自の留学制度・海外研修制度

10学部において、学部独自の留学制度であるスタディ・アプロード (SA) プログラムがカリキュラムに組み込まれています。また、学部のカリキュラムに合わせたさまざまな海外研修も行っています。

※一部の留学制度・海外研修制度には、奨学金制度があります。

- ▶ SA奨学金制度 ————— P.190
- ▶ 海外留学支援奨学金制度 — P.188

## 学部独自の留学制度

学部・制度名	形態	2018参加人数	留学先(1つを選択)	期間	目的
文学部英文学科 SAプログラム	英文学科1~4年次の希望者 (学内選考あり)	9	ダブリン大学 <sup>®</sup> (アイルランド)	夏休み3週間	英語と英語文化・英米文学を海外で学ぶ
	英文学科2~4年次の希望者 (学内選考あり)	5		秋学期約3ヵ月間	
	英文学科2~4年次の希望者 (学内選考あり)	5		秋学期約7ヵ月間	
経済学部 SAプログラム	英文学科2~4年次の希望者 (学内選考あり)	---	フォントボン大学(アメリカ)	秋学期約4ヵ月間	英語と英語文化・英米文学を海外で学ぶ
	英文学科2~4年次の希望者 (学内選考あり)	2		秋学期約7ヵ月間	
経済学部 SAプログラム	定員約60~100名 (学内選考あり)	39	カリフォルニア大学デヴィッド(アメリカ)、シェフィールド大学(イギリス)、モナッシュ大学(オーストラリア)、ブロンクス大学(カナダ)	2年次春学期約4ヵ月間	留学先の文化、社会、経済、ビジネスなどを英語で学ぶ
社会学部 SAプログラム	希望者(学内選考あり)	10	ボストン大学 <sup>®</sup> ・カリフォルニア大学サンディエゴ校 <sup>®</sup> (アメリカ)、トロント大学 <sup>®</sup> (カナダ)、北京師範大学 <sup>®</sup> (中国)	2年次または3年次秋学期の約2~5ヵ月間	語学能力を磨き、異文化社会に対する理解を深める
		4	アルバータ大学(カナダ)	3年次の約8ヵ月間	1学期目に集中英語講座を受講し、2学期目は学部の正規授業を履修する
経営学部 SAプログラム	定員約30名(学内選考あり)	24	ネバダ大学リノ校 <sup>®</sup> (アメリカ)、モナッシュ大学 <sup>®</sup> (オーストラリア)	2~4年次秋学期に約3~4ヵ月間	ビジネスに必要な英語コミュニケーション能力を高め、異文化理解を深める
国際文化学部 SAプログラム	学部生全員が留学 (ただしSSI参加者は選択制、 外国人留学生は欄外参照)	246	シェフィールド大学 <sup>®</sup> ・リーズ大学 <sup>®</sup> (イギリス)、カリフォルニア大学デヴィッド校 <sup>®</sup> ・シカゴ州立大学 <sup>®</sup> ・ボストン大学 <sup>®</sup> (アメリカ)、ヨーク大学 <sup>®</sup> ・トロント大学 <sup>®</sup> ・ブロンクス大学 <sup>®</sup> (カナダ)、モナッシュ大学 <sup>®</sup> (オーストラリア)、ロワナプルーネブル大学 <sup>®</sup> (ドイツ)、西部カリフォルニア大学 <sup>®</sup> (フランス)、ペテルブルク国立交通工科大学 <sup>®</sup> (ロシア)、上海外国語大学 <sup>®</sup> (中国)、バルセロナ大学 <sup>®</sup> (スペイン)、韓国外国語大学 <sup>®</sup> (韓国)	2年次秋学期約3~6ヵ月間	外国語運用能力を磨き、異文化への共感力とコミュニケーション能力を高める
人間環境学部 SAプログラム	定員10名(学内選考あり)	7	ボンド大学 <sup>®</sup> (オーストラリア)	秋学期約3ヵ月半	英語によるコミュニケーション能力を向上させながら、アカデミックイングリッシュを身に付けることを目指す
キャリアデザイン学部 SAプログラム	定員10名 (各国5名上限・学内選考あり)	オークランド5 アテレード5	オークランド大学 <sup>®</sup> (ニュージーランド)、アテレード大学 <sup>®</sup> (オーストラリア)	秋学期約3ヵ月間	英語コミュニケーションの能力を高めるとともに、異文化への理解と交流を深めることを通じて、自らのキャリア形成の基礎を築く
GIS(グローバル教養学部) Overseas Academic Study Program	希望者 (派遣先の条件を満たすこと)	8	サンホセ州立大学(アメリカ)、サセックス大学(イギリス)、アプスエドワードアイランド大学(カナダ)	4~5ヵ月間	学部課程の正規授業を受講
		---	マッセイ大学(ニュージーランド)	約4ヵ月間もしくは約10ヵ月間	
理工学部 SAプログラム	定員約30名	20	サンディエゴ州立大学 <sup>®</sup> (アメリカ)	夏休み4週間	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めるなど
	定員約25名	13	リムリック大学 <sup>®</sup> (アイルランド)	春休み4週間	
生命科学部 SAプログラム	定員約30名	8	サンディエゴ州立大学 <sup>®</sup> (アメリカ)	夏休み4週間	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めるなど
	定員約25名	6	リムリック大学 <sup>®</sup> (アイルランド)	春休み4週間	

1.※印の留学先は、大学付属の語学センターとなります。2.年度により留学先が変更となる場合があります。3.外国人留学生入試前日程、海外指定校推薦入試、日本語学校指定校推薦入試、韓国済州特別自治道教育庁からの推薦入試等により入学した国際文化学部の外国人留学生は、SAプログラムでなく、スタディ・ジャパン(SJ)プログラムへの参加となります。

## 学部独自の海外研修制度

学部・制度名	形態	2018参加人数	留学先(1つを選択)	期間	目的
法学部 Hosei Oxford Programme	国際政治学科全員 法律・政治学科(若干名)	157	オックスフォード大学(イギリス) 南フィリピン大学(フィリピン)	イギリス:夏休み10日間程度 フィリピン:夏休み15日間程度	英語力を磨き、国際的な視野を広げる
文学部哲学科 国際哲学特講	哲学科2~4年次の履修希望者 定員約20名 (選抜となる場合がある)	19	フランス、ドイツ	2月の約1週間	哲学の諸問題を海外の風土・文化の中で、 海外の学生との合同ゼミを通して学ぶ
社会学部 単位認定海外短期留学制度	ドイツ語初級A・B、 フランス語初級A・Bを履修した者	4	学部の認定した外国語研修機関 (ドイツ、フランス)	1~3年次の春休み期間 2~4年次の夏休み期間	社会学部が認定した外国語研修機関に 留学し、語学能力を磨く
国際文化学部 海外フィールドスクール	SAまたはSJを修了した学生 各コース5~10名(学内選考あり)	12	タイ、ミャンマー、ラオス(年度により変わります)	夏休み1週間~10日程度	SAまたはSJで修得した異文化コミュニケーション能力を生かし、より高度な専門知識を修得する
人間環境学部 海外フィールドスタディ	希望者(学内選考あり)	54	オーストラリア、東南アジア、中国、ヨーロッパなど (年度により変わります)	夏休みまたは春休みに 10~14日間程度	現地で環境問題の見分を広める
現代福祉学部 海外研修制度	定員30名(学内選考あり)	30	スウェーデン	2年次の夏休み8日間程度	海外において社会福祉や地域づくり、 心理の現場を学ぶ
キャリアデザイン学部 キャリア体験学習(国際)	定員各10名 (希望者多数の場合、学内選考あり)	ベトナム 10 台湾 10	ベトナム、台湾	夏休みに2週間	現地研修を行う上で必要な知識、言語等 について学び、異文化に直接触れることで 国際性を身に付ける
スポーツ健康学部 スポーツ健康学海外演習	定員22名(学内選考あり)	16	ボイシー州立大学(アメリカ)	2・3年次の夏休み2週間	英語能力を磨き、スポーツ健康学の知識を 深める
デザイン工学部 海外派遣プログラム	システムデザイン学科2年次の希望者	12	南フィリピン大学(フィリピン)	2年次の秋学期前半	英語の個別指導とシステムデザイン学科 専任教員による専門科目の受講

1.年度により留学先が変更となる場合があります。

スタディ・アプロード(SA)  
プログラムについての  
詳細はこちら



独自の留学制度・海外研修制度を  
実施している学部

# 14 学部



Student's Voice

瀬川 愛夢美 さん

理工学部 経営システム工学科 2年  
東京都立清瀬高等学校 出身

理工学部SAプログラムに参加して

さまざまな経験を通して学んだ、  
“積極的に挑戦することの大切さ”

アメリカのサンディエゴ州立大学に1ヵ月間、留学をしました。「大学在学中に英語を話せるようになりたい」と思い留学に挑戦。SAプログラムには給付型の奨学金があることも魅力的でした。留学先の大学では、自由にテーマを決めて、英語でプレゼンテーションをする授業があります。私は数理モデルを使って企業の経営課題を解析する手法を学んでいますが、プレゼンテーションでも数理モデルに関連した発表をしたいと思いテーマを決めました。それはシマワムの模様が数理モデルと関係しているということ。いろいろ調べて資料を作り発表しました。緊張しましたがうまく伝えられたと思います。また留学先では、グループワーク形式の授業が多かったのが印象的です。例えば映画を見て、内容を理解していないと回答できない問題が出題され、他国の留学生と英語で話しながら答え合わせをします。リスニングもスピーキングも上達しますし、一番楽しかった授業です。留学から帰ってきて「少し話せるようになったな」「聞きやすくなったな」と思える瞬間があり、今後のモチベーションになりました。また、留学後の一番の変化は積極的になったこと。「こんなことまで聞いていいの?」と思うくらい、先生にたくさん質問をする他国の留学生を見て、「失敗を恐れず積極的にやらなければ」と、刺激になりました。授業以外では、ホストマザーに出会えたことが大きな思い出です。たくさん話しかけてくれたけれど、うまく話せない場面もあり悔しい思いもしましたが、今でも時々、近況を連絡し合う中で、今後も交流を続けたいと思っています。将来の目標はまだ決まっていますが、英語を使った仕事にも興味を湧きましたし、もっと勉強して英語力を高めたいです。



滞在先のホストマザーと思い出の一枚

現代福祉学部海外研修制度に参加して

福祉先進国・スウェーデンで、日本とは異なる社会を实地に観察  
現地の大学生から受けた刺激が今後へのモチベーションに

2年次の夏、現代福祉学部の海外研修制度でスウェーデンを訪れました。初めて見る北欧の町並みは、まるで映画に出てくるようなかわいらしさ。そんなメルヘンのような風景とともに強く印象に残ったのが、男女が一緒に育児に取り組む社会です。私が出会ったある夫婦は、母親の育児休暇が終わると、次は父親が育児休暇を取るのだと、ごく当たり前のことのように言っていました。日本には「イクメン」という言葉がありますが、そんな言葉があるのは女性だけで育児をする風潮がまだ残っているからだと思われ、気付かされました。現地で交流したストックホルム大学の学生たちと、一緒に遊びに行ったり食事をしたりしたのも良い思い出です。彼らとさまざまな話をする中で、「もっと外国語を勉強したい」「日本で学びたい」といった向上心や意識の高さに刺激を受けました。私は元々引っ込み思案なところがあり、これまでは英語を勉強していても外国の方に声をかけられずにいました。しかし海外研修後は、英語で話しかけることができるようになり、また話しかけられる機会も多くなりました。現地で出会った学生たちに触発されて「少しでも興味があればチャレンジしよう」「他にもさまざまな国を見てみたい」という意識を持てるようになったのも、海外研修で得られた大きな収穫の一つです。



ストックホルム大学の学生たちと交流

Student's Voice

有村 桃佳 さん

現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 2年  
北海道釧路江南高等学校 出身